

# 竹取新聞

株式会社 カグヤ  
東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング  
2号館10階



第112版

理念と実践で  
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

カグヤクルーブログも  
毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp

「聴福庵」の情報はFacebookで  
f 神家絵本家 聴福庵



実践発表を終えた発表者のお二人に感想をお聴きしてみると  
「発表したのは私たち2人ですが、他のクラス担任にインタビューしたものを流していたので、2人でやった感じがしませんでした。一緒に協力してやった感じです！」  
とお話していただきました。

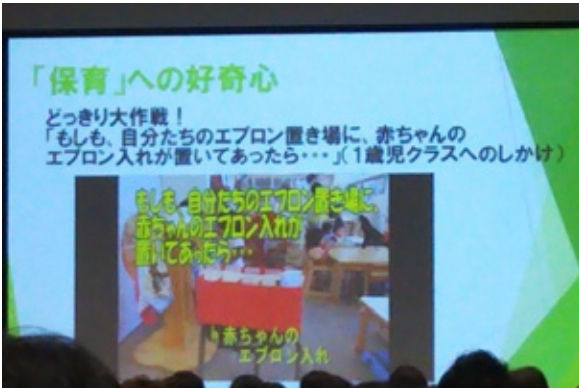
## チーム保育としての発表

東京都世田谷区にあります、芦花の丘かたるば保育園は今年4月に開園したばかりの保育園です。開園してからの工夫や苦労など、新設園での実践事例を皆で学び合えたらと思い、先日開催した『第49回保育環境セミナー』での「実践発表」をお願いすることになりました。当初、今回の参加者は新人であるため、園長は発表を引き受けてよいか迷ったそうです。しかし、本人たちの「やります！」という声により実現す

ることになりました。セミナー当日の発表は、発表者が全てを紹介するのではなく、01歳児クラス、2歳児クラス、345歳児クラスの各担任へのインタビュー動画を途中に流す形式で行われました。新人だから難しいと思うのではなく、こんな風に映像を通して皆の力を借りれば安心して臨むことが出来ることを今回の発表から学ばせていただき、チーム保育らしい素敵な発表だと感じました。

## 楽しさが伝播

ギビングツリー主催の『保育環境セミナー』では、東京都の板橋区にある栄町保育園様による実践発表がありました。発表からは、子どもたちは勿論、先生たちも好奇心をもって保育を楽しんでいる様子が伝わってきて、見ているこちらにも楽しくなるほど。例えば「どつきり大作戦！」の名のもと、「もしも、自分たちのエプロン置き場に、赤ちゃんのエプロン入れが置いてあったら…」など、先生たちが1歳児クラスへしかけてみたり、運動会の「紙飛行機入れ」の種目に対して「その様子を下からではなく、紙飛行機の上から見たい！」と、ドローンを飛ばして空撮し、その後その様子をホームページで配信してみたり。他にも、運動会前の子どもの様子を先生たちがユーモアを交えて動画をつくり、それを「運動会のしおり」におまけ動画としてQRコードを添付し配信してみたり。しかも、そんな日々の保育の様子は毎日、保育園のホームページからブログで発信され



「自分らしく生きることができる」の理念のとおり、発表にも「らしさ」が！

ており、色々と豊富な発信にも驚かされますが、そのどれもがこんな風に楽しんでいるからこそ、共有したくなった発信したくなるのだらうとも感じました。そして、こんな楽しそうな先生たちの雰囲気によって、子どもたちの好奇心も守られるどころか、むしろ引き出されて楽しさが伝播しているような気さえしました。そういう意味では、保育現場に関わらず、私たちも周りのためにも好奇心を大事に色々とワクワク楽しみながら、発信も大事にしていけたらと思っています。

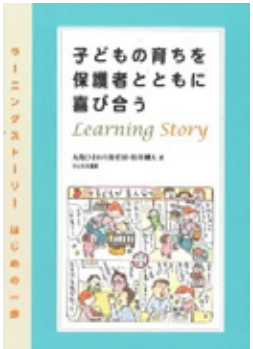
## 新しい保護者支援の形

香川県丸亀市の丸亀ひまわり保育園様に伺った際に『メモリー』という実践を紹介して頂きました。『メモリー』は、子どもがどんな経験をしてきて、どんなことが得意で、今どんなことに夢中になっているかを写真と文章で記録したもの。記録して終わりではなく、保育士と保護者が互いに子ども本人に向けてのポジティブメッセージを綴り、子どもを中心にその子の成長のストーリーを一緒につくり上げていくことで、保護者も保育に参画しやすい環境となっています。

保育士同士、保護者同士の対話を増やすのが目的でもあります。月々一回保護者をつくりあげる『メモリー』によって、保育士、保護者同士は勿論、保育士と保護者も、更には家族みんなで子どもの育ちを喜び合う時間がつくりだされます。



保護者向けの『連絡帳』とは違い『メモリー』のあて先はあくまで子ども！



試行錯誤しながら『メモリー』に取り組む5年間の様子は本にまとめられています！

カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

### 祝・初収穫!!



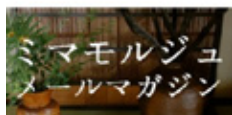
これぞ、カグヤ水田「むかしの田んぼ」!!

これまで藤崎農場様のお手伝いというスタイルで実践を積んできた稲作でしたが、今年からご縁あって何ヶ所かあるうちの１ヶ所をカグヤに任せていただけることになりました。そしてこの秋、遂に初収穫を迎えるということで、天と大地の恵みに感謝して、稲刈り前にちよつとした収穫祭を開催することに…。

田んぼの真ん中に祭壇を設け、初刈りのお米でつくったおにぎりを捧げます。感謝を胸に、皆で一緒に食

### 未完成の楽しさ

毎週月曜に配信している『ミマモルジュメールマガジン』。セミナー情報や、全国の保育園での実践など、皆さんのお役に立てるような情報を！と始めた配信も、開始から一年半が経ち、これまでに89回の配信をさせて頂きました。とにかく思いのままに書いては配信してきたため、どうしてもお役に立てる情報を配信できるだろうかと思案し続け、83号からは保育に関する情報を増やし、デザインを一新！本来なら100号など区切りの良い数字で心機一転するものかもしれませんが、思い



テストメールを何度も送ってしまった…  
試行錯誤あるあるです。



メールマガジンは  
こちらから配信登録  
いただけます♪



初めての収穫に感謝して…  
秋風が黄金色の稲穂の中を  
駆け抜けます。



キラキラ輝くお米には自然  
がくれた栄養がギュッ！

べる味はまた格別！至福のひとつを過ごした後はいよいよ稲刈りです。稲刈り機が大きな音を立て、稲を一気に刈り取っていきます。機械が入れない畦際は人の手で刈らねばなりません。農作機械も進化していて、刈り取ると同時に脱穀までできてしまうから驚きです。

こうして春先から手掛けた稲はようやくお米になりました。「カグヤ米」の誕生です！農薬を一切使わず、タニシや蛙やドジョウに水鳥、そんな生き物たちの力を借りつつ、稲が自身の力で育った真正正銘の自然米。この一粒一粒が未来への懸け橋になると信じて、これからもこの実践を大切にできたらと思います。

### 喜び広がる

先日、あるクルーが頂きものの梨でケーキをつくってくれました。日頃から誕生日スイーツをつくっているからか「賞味期限ギリギリの卵が自宅にあったからちょうどよいと思って」とサラリとつくってくれたあたりがサスガ！しかも「賞味期限もあるし、不在のクルーのためには梨ジャムつくってるから遠慮せず食べてもらって大丈夫だよ」とそんな優しさに更

### 物々交換の智慧

#### 一期一会庵

先日は、福岡の『聴福庵』で『子どもと学問の祭典』として第2回目の天神祭を実施しました。この天神祭の名前の由来は、学問の神様で有名な菅原道真公が子どもたちの学問を見守ることに因んではじめたもの。私たちが会社なのにな何のためにこんなことをやるのかと言えば、子どもたちに先人の智慧を伝承し伝道していく教育を守っていくためです。現在は、知識ばかりの教育が増え「教えない教育」といった智慧の伝承が消失してきています。本来の生きる智慧は、家や暮らし、稲作、そして御祭りなどの伝統行事の中に存在して継承されてきました。それを復古創新する試みとして2年前より行っています。

天神祭当日は来庵して下さった方々から野花をはじめ炊き込みご飯、アケビ、キノコ、野菜、手づくりベーコン、自家製梅干し、そのほか饅頭

に感動！人にはそれぞれ得意や持ち味があるわけですが、こんな風に自分の得意を周囲が喜ぶことへと使うのは、皆が幸せな気持ちになるものですね。宝の持ち腐れにならないよう、活かし合う目線、行動を大事にしたいと改めて感じています。



出張帰りのクルーには、  
「梨ジャムヨーグルト」を  
ふるまってくれました！

や梅が枝餅など沢山の土産を頂きました。今ではお金中心の金融社会とも言えますから、あまり物々交換をすることも少なくなってきたように思います。しかしむかしのような物々交換は、頂いたものの意味やそのご縁や繋がりをより一層感じさせ感謝しやすいものです。目に見えない恩徳や、循環していく因果応報などむかしの人たちはもったいない心を意識してお互いに物々交換していたのではないかと思います。言葉で教える「モットイナイ」にはない、具体的に心で懐かしく感じる「もったいない」のぬくもりは永遠に記憶に残ります。時代が変わっても、本来の智慧は普遍的に今の世の中にも遺っているものです。

引き続きカグヤは子どもたちのために日本的な経営や暮らしを復古起新しつつ大切な真心を子どもたちに伝承していききたいと思っています。

#### 【編集後記】

今月も竹取新聞をご覧頂きありがとうございます。暦の上では立冬を迎え、朝晩もすっかり寒くなっています。くれぐれもご自愛下さい。

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます